

「歌手ではない大竹の歌は魂の叫びとなって、聴くものを圧倒する。同時代に大竹がいる幸せを感じる瞬間だった」—— 日刊スポーツ 林尚之

あたしが歌うときは、  
あたしを出すんだ。  
全部まるごと。

瀬戸内寂聴さんの賛辞は、チラシの裏に…。

エディット・ピアフ  
大竹しのぶ

「大竹しのぶの幕切れの絶唱。『水に流して』を聴くだけでも劇場に出かけた甲斐のある音楽劇だ」

—— 日本経済新聞 内田洋一

「渾身の熱唱だ。日頃は卑俗で口汚いピアフが、歌っている時だけは聖性を帯びてくる」—— 朝日新聞 小山内伸

# Edith Piaf

ピアフ

作:パム・ジェムス 演出:栗山民也

2018年

11月4日(日) - 12月1日(土)

一般前売開始  
2018年8月25日(土)

日比谷  
シアタークリエ  
THEATRE CREATION



最愛の人を失った時も——病が身体と心を蝕んだ時も——「愛」と叫んだ、ピアフの激烈な人生。



# 瀬戸内寂聴さんの しのぶピアフへの贅辞

ある日、ふと週刊誌で大竹しのぶさんの『ピアフ』の広告が目に入った。突然私はむっと起き上がり、秘書のまなほをメールで呼び寄せた。

「明日すぐ上京してピアフ観る。用意して」

「今頃、キップありませんよ」

「ある！私だと言いなさい！どんな隅でもいい。」

冥土の土産に観たいと言うのよ」

「冥土の土産だと言っては毎日、美味しいものを食べてる上に、観るのも加わるのですか？」

「つべこべ言わずに、即、TELしなさい！」

そこで、私は若い秘書の腕にしがみついて、歩く所は全部車椅子で上京し、常宿の帝国ホテルに泊まった。『ピアフ』の上演されている劇場シアタークリエは、ホテルから歩いて三分の場所であった。(中略)しのぶさんが私が行くのをとても喜んでいと伝言があった。私は真っ赤なバラをどっさり届けておいた。秘書のまなほは東京に着くと急に優しくなり、『ピアフ』に行くのを私以上に喜んでる。(中略)

大竹しのぶのピアフは圧巻だった。小さくて顔も子猫のしのぶピアフは、写真でしか知らない肥りぎみ丸顔の本物のピアフとは似ていないが、口をおデコまで大きくあけて歌うしのぶピアフの迫力は、観て聴いている私を、この世の外に引っ張り出してくれた。パリの貧民街に生まれ、路上で歌っていたのを発見され、エディット・ピアフという世界的大スターとなるピアフの情熱と、生真面目さと、孤独を、しのぶピアフは息をつくひまもなく人生をかけて熱演し、観客を陶醉させた。一度も逢ったこともないのに、ピアフはこうだったのだろう、こう歌ったのだろう、こう男に溺れたのだろうと納得させられてしまう。ピアフの恋人で、ただ一人私が逢って歌声を聴いたことのあるイヴ・モンタンが出てきて歌った時は、思わずそれが舞台であることを忘れて、声を上げたくなった。ピアフは生涯、死ぬまで優しい男に恵まれていた。それでいて孤独であった。大竹しのぶは？

(「婦人公論」 2016年5月24日号より)

## 11月4日(日) - 12月1日(土)

電話予約・プレイガイド販売開始: 8月25日(土)



※シアタークリエ劇場窓口では、前売開始日の翌日より残席がある場合にお取扱いいたします。窓口お取り置き席はございません。  
※貸切公演が入る可能性があります。何卒ご了承ください。

インターネットでの購入は「東宝ナビザーブ」まずはご登録を!



ログインはこちら <https://toho-navi.com/>

【先行抽選エントリー期間】2018年8月7日(火)～10日(金)

【先行販売】2018年8月19日(日)午前10時より販売開始

グループ観劇(6名様以上) (営業時間)平日 9:30～18:00

03(3216)2008 一般前売に先立ちご予約を承ります。

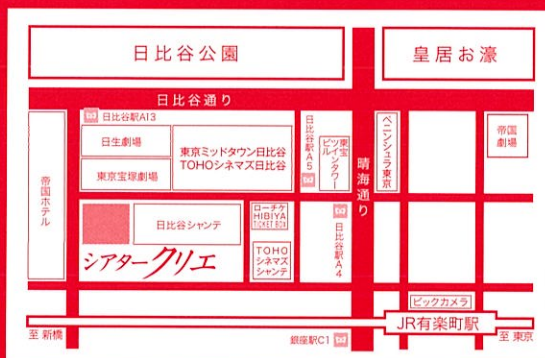
お電話予約は「東宝テレザーブ」

☎03-3201-7777 (営業時間) 9:30～17:30

料金: 11,500円(全席指定・税込)



〒100-0006 千代田区有楽町1-2-1 TEL 03(3591)2400



※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。  
※安全管理者・スタッフのお届けは、ご辞退申し上げます。  
○千代田線日比谷駅A13出口より徒歩2分  
○日比谷線日比谷駅A5出口より徒歩3分  
○地下鉄銀座駅C1出口より徒歩5分  
○JR有楽町線日比谷駅C1出口より徒歩7分  
○日比谷シヤテ地下2階より地下鉄と直結